

スリランカのお茶事情について
＜アフターヌーンティー＞

31期 小島 夕佳

現在コロンボに駐在し、もうすぐ一年となります。

紅茶の国、スリランカよりアフターヌーンティーについてご紹介いたします。

コロンボには Shangri-La ホテルがあります。Galle Face という大きなショッピングモールと繋がっているのです、お茶をしたあとにお買い物も楽しむことができます。



Shangri-La ホテルのエントランスからすぐに Sapphy Lounge はあります。アフターヌーンティーはそちらで提供されています。

紅茶はシャングリラシグネチャーブレンドを始め、各種セイロンティー、イングリッシュブレックファースト、アールグレイ、ダージリン、マサラチャイなどがあり、その他にジャスミンティーやカモミールなどのお茶もメニューにあります。

アフターヌーンティーでは1種類のお茶を選ぶことができますが、私は毎回ティーフーズとも相性が良いシャングリラシグネチャーブレンドがお気に入りです。



(※無断複写・転載を禁ず)

3段トレイのアフターヌーンティーが一般的によく見られますが、こちらは5段トレイで、写真にぎりぎり収まる迫力のあるアフターヌーンティー！コロomboの Shangri-La ホテルならではの楽しみです。

季節に応じてメニューも変わり、ティーフーズは Shangri-La ホテルの名に恥じない非常に美味しいバリエーションです。



2024年の10月にはピンクアフターヌーンティーが提供されていました。

その際は3段トレイでしたが、モクテルや食べ物全てがピンクで例えば、スリランカのローカルな食べ物で米粉とココナッツミルクの生地を専用のフライパンで焼き上げるホッパーというものがありますが、この時はホッパーもピンクになっていました。

中に卵が入っているエッグホッパーというものはよく目にするのですが、Shangri-La ピンクアフターヌーンティーでは、チキンとチーズが中に入っていました。



Sapphry Lounge では音楽の生演奏と目の前はインド洋が広がり、非常に素敵な空間でアフターヌーンティーを堪能することができます。

他のホテルはアフターヌーンティーも2名からの提供となり、1人で楽しみたいと思ってもなかなか行くことができない場合もありますが、Shangri-La ホテルのアフターヌーンティーは当日予約でも、1名からでも席を提供してくれるのも嬉しいポイントです。また、お値段はサービス料、税金込みで7,389 ルピー（日本円で約 3,700 円）なのもコロンボの Shangri-La ホテルのいいところです。



別のエリアでは、ヌワラエリアの Grand Hotel でアフターヌーンティーをしたこともありますが、そちらでは、ディルマが使われており、ユニークな形のティーポットで提供されていました。



ところで、スリランカのお土産にも人気のディルマは、t-Lounge by Dilmah というティーラウンジ形式でコロombo市内に3か所お店があります。Shangri-La ホテルの隣接の Galle Face 1 階にもお店があり、そちらでもお茶を楽しむことができます。

クラシックな紅茶やフレーバー紅茶など種類がありますが、t-Lounge by Dilmah ではホットでもアイスでもアレンジティーが豊富にあり、メニューから選ぶのが毎回楽しみです。紅茶好きには楽しいお店になるかと思い、アフターヌーンティーをする時間があまりない場合や、コロomboに何日か滞在される際はおすすめです。



写真はクリスマスの季節限定商品で、ホットティーとアイスティーのアレンジがありました。

(*無断複写・転載を禁ず)

今回はコロomboのアフターヌーンティーを中心にご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。季節によってメニューも変わりますので、コロomboにお越しの際はぜひお立ち寄りください！！

